

キーワードを入力



マイページ

購入履歴



トップ | 速報 | ライブ | 個人 | オリジナル | みんなの意見 | ランキング | 有料
 主要 国内 國際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

トピックス一覧

【特集】「改正少年法」ここが変わる！18歳、19歳を“特定少年”とし実名報道も解禁に “処罰”か“更生”か…我々に問われる理念とは

4/20(水) 17:01 配信 ■8



加害少年の中にある“被害者性” 適切な支援の在り方とは

少年の社会復帰を支援する 野田詠
氏さん

少年の更生と処罰は、どのようにあるべきなのでしょうか。大阪府内にある児童福祉施設。少年院を出た後、帰る先がない少年や虐待などの理由で、家庭から逃れてきた少年が暮らしています。施設を運営する野田詠氏さんは、11年前からNPO法人「チエンジングライフ」を運営し、食事の準備など身の回りの世話をして、少年の社会復帰を支援しています。

「わかりやすく言つたら、親みたいな感じの距離で接してくれますね。求めていたという感じではありますね」（ホームを卒業した少年）

自身も少年時代、バイクでの集団暴走や窃盗などを繰り返し、4度の逮捕を経験。19歳の時には少年院に送られました。そんな野田さんは、「更生できたのは、母親など周りの大人们が最後まで見捨てなかつたからだ」と話します。



「自分自身が道をそれてしまつて、本当に困っているとき、行く当たがないとき、人生迷つているときに手を差し伸べてもらうと、それのおかげで生き直すきっかけになつたりするので。子どもたちとか自分と同じような経験をしたような人たちに、手を差し伸べる必要があるなど」（野田さん）

自身も4度の逮捕を経験したという、
野田さん（当時18歳）

野田さんは施設の運営のほかに、近所にアパートを借りて非行に走った経験がある少年の自立を支援しています。



「少年院を出てから半年後ぐらいにここ來ました。おばあちゃんが嫌になって、普通にめんどくさい。それで出るという話になつて、出てきました」（少年院を出した少年）

近所のアパートでも、非行少年の自立を支援している

この少年のように家庭に問題がある場合は、保護処分の延長として公的機関やNPOが運営する施設で支援を受けられることもあります。しかし、今回の法改正で保護処分の対象とならない「特定少年」が増えすることで、罪を犯した少年が更生につながる支援を受

けられなくなる恐れがあります。野田さんは、ほぼすべての非行少年が家庭環境に大きな問題を抱えていると話します。

「加害少年の中にある被害者性というのは、確かにあります。親からご飯を食べさせてもらっていない、虐待されていた、親が警察に捕まって出てこないとか。まず環境整えてあげることが大事かなと」（野田さん）

<前へ 1 2 3 4 次へ>

4/20(水) 17:01 配信 8  

ytv

「見してや、運転免許証」（野田さん）

「野田さんにまだ見せてなかったですよね」（少年院を出所した少年・18歳）

「いいねえ。免許あるって、うれしいやろ？」（野田さん）

「なんか大人の階段上った気がします」（少年）

「むしろ職質してくれないかな、って思わへん？」（野田さん）

「ちょっとと思いました。笑」（少年）



少年の話を聞く野田さん

野田さんが支援を続ける18歳の少年は、15歳の時に窃盗や暴力行為などで少年院に入所しました。非行に走ったのは、「家族に自分の姿を見てもらいたい」という気持ちからだったと言います。

「僕がしてきた人様に迷惑かけること、喧嘩したとか他人の物を盗んだ時に、未成年であつたらお巡りさんは絶対に親を呼びますよね。親は絶対に来ないといけないから、それで『自分で見てよ』という遠回しの喧嘩をしていたなって僕は思うんですよね」（少年）

16歳の時に少年院を出たものの、実の父は暴力団員で、同居していた母親は離婚と再婚を繰り返し帰る場所はありませんでした。そんなときに手を差し伸べてくれたのが、野田さんだったのです。

「自分がする行動で悲しむ人、喜んでくれる人がいる。資格取りましたとか、単なる資格でしょと思うけど、それを取れただけで一緒に喜んでくれるんです。『よくやったな』とか」（少年）



これまで多くの非行少年と接してきた野田さん。少年による凶悪犯罪に対する厳罰化には理解を示す一方、少年の更生のためには、それぞれの環境にあわせた支援が欠かせないと話します。

「18歳、19歳って経験不足ですよね。頑張っているけど、まだまだ未熟で大人扱いしてはいけないんじゃないかなと思うんです。責任を求めるのは、自覚が出るからいいと思うんです。ただ、保護と教育が抜け落ちる可能性があると思うんです。更生の機会を奪われることで困るのは、我々

「18歳、19歳はまだ未熟」 少年の“更生”に必要なものとは…

社会で暮らしている人だと思います」（野田さん）

少年の“更生”と“処罰”。時代の変化の中で、少年法の理念をどのように守っていくか…改めて問われています。

（「かんさい情報ネットten.」 2022年4月5日放送）



◎ 記事に関する報告



【関連記事】

【特集】4月1日から「18歳成人」消費者トラブルやAV出演強要…懸念される被害と対策は？

【徹底取材】急速に導入増加「エドテック」 AI活用で成績アップの児童も、一方で学力差広がる懸念…教育現場の実情から見えたメリット・デメリット

【特集】「こいつらを道連れに、と考えたら希望が湧いた」経験者が語る“拡大自殺”計画に至る心理 喪失と孤独を防ぐために必要なもの

【特集】巨大地震がもたらす被害をスーパーコンピューター「富岳」がシミュレーション 軟弱地盤が揺れを増幅 新耐震基準でも倒壊の危険が… 正しい対応で被害がない世界に！

【記者解説】大阪市、2025年に路上喫煙全面禁止へ 万博開催に向け“大阪のイメージアップ”は実現できるのか？ 突然の指導強化に課題も

最終更新: 4/20(水) 17:01

読売テレビ